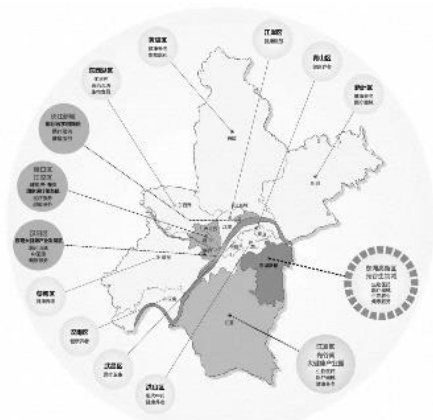


武漢のnext成長産業 – 健康産業の振興計画 「大健康産業発展計画（2019-2035）」について

大分市武漢事務所 賈 芳

健康は、老若男女を問わず最も関心のあるテーマかも知れません。とても大きなテーマに関する産業振興政策が、このほど、武漢市で始動しました。今回は、最新のホットな情報の一端をご紹介します。武漢市は、健康産業を「大健康産業」と表現し、次代を担う産業として、また名前どおりのギガ級の健康産業クラスターを構築する「大健康産業発展計画（2019-2035）」を公表しました。そのたてつけは、習近平新時代の中国の特徴ある社会主義理念をコンセプトに、第19回党大会の精神に沿って、「健康中国」、「健康湖北」を実現していくために、武漢市の優れた研究開発ソースを活用してダイナミックに産業化していこうとするものです。その対象は、健康に関するあらゆる分野、つまり全方位型で、全てのライフサイクルにかかわる「大健康産業チェーン」の構築を推進するとしています。武漢市内に5番目の国指定の新産業拠点として、世界レベルの健康産業クラスターを形成させ、武漢市の「大健康産業」を発展させていこうとするものです。



武汉市大健康产业空间布局图

武漢市大健康産業 全体図

この計画の中で、武漢は以下の「5つの一番」を目指すとしています。

- ①国内トップレベルの健康産業クラスターの形成
- ②世界トップレベルの健康博覧会の開催
- ③特色ある健康産業研究開発センターの整備と個別分野での世界トップレベルの革新能力の集積
- ④中部地区最大の国際医学革新特区の整備と世界レベルの医療サービス
- ⑤トップレベルの産業革新人材の受入システムの構築と人材育成チェーンの形成

具体的には、KPIとして2025年までに全市の大健康産業の総収入を8,000億元（12兆8千億圓 1元=16円計算）とし、年商100億元（1,600億圓）企業を5社から8社育成し、うち500億元（8,000億圓）企業を2社から4社育成していくこととし、合理的で明確な健康産業集積地の形成が目標となります。2030年までの目標は、大健康産業の総収入は1兆4,000億元（22兆4千億圓）に達し、世界的な健康産業クラスターとなり、遺伝子工学薬、肝細胞治療、遺伝子検査、デジタル医学映像、光電子医療設備、医療ロボット及びAI医療など、特色ある分野で国際的に優れた立ち位置を築くとしています。

2035年までに、大健康産業の総収入は2兆元（32兆円）に達し、武漢市は中国の中心都市に肩を並べ、健康促進型社会の形成にマッチした経済構造の確立、国内トップレベルの関連産業の集積レベルを実現させ、武漢市は世界のバイオ医薬品チェーンや医療器械産業チェーンを結ぶ重要な大結節点となるべく奮闘するとしています。

表1 武汉市大健康产业主要领域收入指标

| 项目指标 | 2018年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 生物医药 | 400 | 1500 | 3000 | 5000 |
| 医疗器械 | 100 | 500 | 1000 | 2000 |
| 医药流通 | 1000 | 2000 | 4500 | 6500 |
| 生物农业 | 400 | 1000 | 1500 | 2000 |
| 健康服务 | 1500 | 3000 | 4000 | 4500 |
| 总计 | 3400 | 8000 | 14000 | 20000 |

单位:亿元

注:上述数据除医药流通领域外,其他领域的测算数据参照了《武汉建设世界级生物医药及医疗器械产业集群规划方案》《“健康武汉2035”规划》《武汉·中国种都发展规划(2017—2025年)》等已出台规划。

産業収入指数

戦略上の産業構成として、「優位性の発揮、特色を強調、合理的な分業、互惠」の原則の下、バイオ医薬品、医療機器、医薬流通、バイオ農業とヘルスサービス産業の5分野が水平協働で発展していく「一城一園三区」戦略を打ち出しています。

「一城（一つの都市、まち）」は光バレーバイオタウンで、大健康産業のリーディング拠点となります。主に経済経営活動、革新的医薬品・ハイエンド医療器械・バイオ農業製品の研究開発、革新性のある企業の孵化、産業チェーンの分業形態の革新、技術革新のためのプラットフォーム支援、パイロット政策の試行など全市の政策推進エンジンの役割を果たすこととなります。

「一園（一つのパーク）」は光バレーサウス大健康産業パークです。既存の光バレーバイオタウンがオーバーフロー状態であることから、バイオ医薬品、医療器械の量産エリアと位置づけられており、短期戦略上、急速な発展が期待できる産業パークとなると言われています。

「三区」は漢陽大健康産業発展区、環同济—協和国家医療サービスエリア、武漢長江ニュータウン国際医学創新区の三区を指します。漢陽大健康産業発展区は医薬品流通システムの構築と漢方薬の研究開発を重点的に行うエリアとなっています。

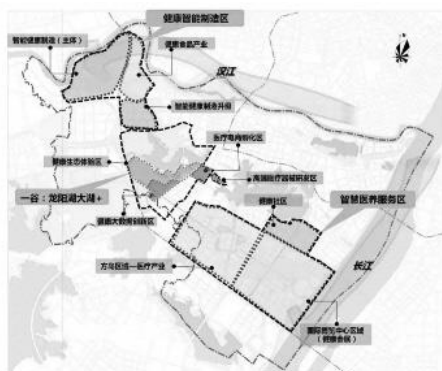
環同济—協和国家医療サービスエリアは、実力、歴史とともにある二つの大学病院のハイスpekな医療施設・施設を受皿とした臨床研究拠点とされています。

武漢長江ニュータウン国際医学創新区は、医学的見地からの研究開発、生産、育成に特化したエリアで、創業を含めた企業産業活動との融合を図るとしています。

「一城一園三区」戦略により、市内各所で特徴ある健康産業がさらに規模を拡大し、点から線、線から面へと発展していく道筋が明らかになっています。

武漢のnext成長産業 – 健康産業の振興計画 「大健康産業発展計画（2019-2035）」について

大分市武漢事務所 賈 芳



漢陽大健康産業發展區空間布局圖

漢陽大健康産業發展區 全体圖



光谷生物城空間布局圖

光谷生物城 全体圖

このほかに、市内全域で健康長寿、健康管理を浸透、定着させていくために豊かな自然環境と利便性のある公共交通という武漢の特徴をいかした「+湖」、「+山」、「+地下鉄」、「+都市軌道」による健康長寿、保健産業を振興させていくことにしています。具体的には、夏王朝史跡「盤龍城」や名勝「柏泉」、「後官湖」、「青龍山」、「五里界」、「倉埠」の6か所を健康小町として指定し、健康、長寿、リハビリ、リフレッシュ、旅、知に関する産業を複合的に振興するとしています。

「大健康産業」の振興は、単に武漢市の発展策というだけでなく、市民生活にも身近な政策といえます。長期計画ですが、期待膨らむ市井の市民に、今後どのような恩恵や変化が届けられるのか楽しみです。

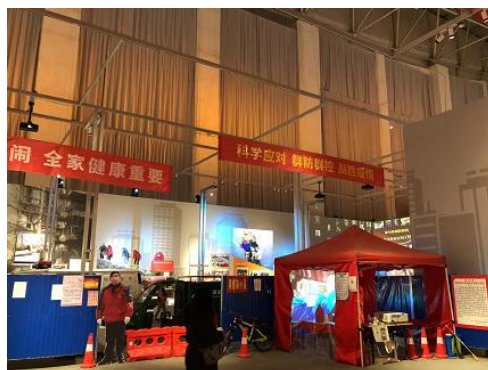


武漢長江新城國際醫學創新區空間布局圖

江新城國際醫學イノベーション区 全体圖



健康促進啓発イベントに参加されたボランティアたちの様子



※写真は武漢事務所スタッフ撮影